



「主体的に学ぶ生徒」を育てる

校長 神野 孝彦

明けましておめでとうございます。

3学期がスタートしました。1年で最も短い学期ではありますが、次の学年やステージにつながるとても重要な学期となります。3学期は、3年生には49日、1・2年生には52日しかありません。令和6年のスタート地点にいる今、今年1年の目標をしっかりと定め、1日1日を無駄に過ごすことなく、目標達成のために努力を積み重ねてほしいと願っています。保護者の皆様方におかれましても、一人一人の生徒の健全育成に向けて、今学期も引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

さて、霞台中学校の先生方は、「教員側から何も言わずとも、主体的に学ぼうとする生徒を育てる」ことを目標にしています。しかし、前向きに学習や行事に、部活動や習い事に主体的に取り組めきれていない段階の生徒が見受けられます。また、先生に言われるから、親に言われるから仕方なく取り組んでいる段階の生徒もいます。多様な段階の生徒がいる中で、我々教職員の役割は、生徒一人一人の成長を一律に捉えるのではなく、個別に対応しながら「自律」に向けて導いていくことが大切だと考えます。



成長段階の生徒たちは、「こんな学習をして何の意味があるのだろうか？」などと疑問を抱きがちです。そうした疑問に対して、先生たちは「この学びや取組は、生活のこんな場面に役立つのだ!」「外見の自律でなく、内面の自律が大切なんだ!」…… など、生徒たちに説得力のある言葉で語りかけること、それをできるかどうか、主体的に学ぶ生徒を育てるために重要なことだと思います。

これまで心がけてきた「生徒の主体性を大切にする」教育を、今後も全教職員で目指していきたいと思います。本年もよろしくお願いいたします。

本校のホームページにアクセスすることのできる QR コードを掲載します。ぜひご覧ください。



★F組赤飯づくり

F組の1年生が田植え、稲刈りをしたお米を使って、赤飯づくりを行いました。各班協力しておいしい赤飯を作ることができました。



★オンライン生徒会交流会

市内の生徒会と Google classroom を使った交流を行いました。「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」などのテーマについて意見交換をしました。



★1年生 青梅学

自分たちの住む青梅や奥多摩の歴史、産業、河辺駅周辺の変容などについてのお話を第八支会の方々からいただきました。



★主張大会

市内在住の小中学生が集い、将来の夢や身の回りに起きた出来事、ふるさと「青梅」についてなどさまざまなテーマで発表を行いました。



★生徒の活躍

第19回青梅市小・中学生の主張大会

青梅市長賞 比留間 菜々子 (2C)

審査委員特別賞 トラン ノック (1C)

青梅市教育委員会伝統文化奨励表彰

獅子舞 平原 愛莉 (3C)

全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁が実施する税の作文

青梅税務署長賞 市川 くらら (3A)

八王子都税事務所所長賞 後藤 愛奈 (3C)

西多摩納税貯蓄組合連合会 特別賞 遠藤 静音 (3A)

～卒業生の活躍～

2018年に卒業した今井勇人さんが知的障がい者サッカー日本代表に選出されました。12月16日から12月25日にアルゼンチン代表と国際マッチとして試合を行いました。

★1月の予定

9日(火)

始業式 午前授業始

10日(水)

給食始 午前授業終

22日(月)

私立高校推薦入試始

学校運営連絡協議会

26日(金)・27日(土)

都立高校推薦入試